

『食の都庄内』旬だより

【庄内砂丘の「春いちご」】



庄内砂丘の「春いちご」



収穫期を迎えた果実（4月中旬）

1 庄内砂丘の「春いちご」

- 庄内地域の砂丘地で栽培されているいちごの旬は主に春から初夏までで、この時期に収穫されるいちごは「春いちご」と呼ばれ、濃厚な甘みが特徴です。
- 山形県は、いちご生産量の全国シェアは高くないものの、庄内地域の栽培面積は、県内の42%を占めています。庄内砂丘地は、海に面しているため比較的積雪が少なく、水はけがよいことから昭和の初めころから「春いちご」の栽培が盛んに行われてきました。
- 現在、「春いちご」の主力として栽培されている県オリジナル品種「おとめ心」は、きれいな円錐形で光沢があるため外観が良く、甘みと酸味のバランスがとれている人気品種です。
- 出荷時期は4月中旬から6月中旬頃までで、ゴールデンウィーク頃から盛期を迎えます。酒田市内の産地直売所やスーパー等で販売される他、いちご狩り体験ができる観光農園も開設されます。

2 「食の都庄内」による「やまがたフルーツ150周年」情報発信

- 山形県では、1875年（明治8年）にさくらんぼや西洋なしなどの果樹の苗木が県庁の敷地に植えられて今年で150周年を迎えることから、「やまがたフルーツ150周年事業」として県産フルーツのプロモーションを展開します。
- 庄内総合支庁では、4月末頃から「食の都庄内」公式ホームページに特設ページを設け、多彩な庄内産フルーツの魅力を伝える他、産直施設や観光果樹園の旬な情報を順次発信していきます。「春いちご」の情報も特設ページで発信予定です。